

静岡県ラグビーフットボール協会 令和 2 年度の組織、活動について

静岡県ラグビーフットボール協会は、役員改選に伴う令和 2 年度の執行体制を下記のとおり定めましたのでお知らせします。

昨年開催のラグビーワールドカップ 2019 にて「静岡ショック」という世界的にも有名になった本県が、一過性のブームで終わらせることなく、レガシーとして県内のラグビー文化を広めていくことがこれからの責務となります。

そこで、ラグビーワールドカップ 2019 静岡大会で御尽力された静岡県特別補佐官の吉林章仁氏を協会相談役に迎えるとともに、事務局を移転し協会の業務執行を補助する機関を新設します。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、年度末から様々な大会や催事が延期や中止となっていますが、事態が収束しラグビー競技が再開になる時期に向け、ラグビーの普及啓発及び選手及びファンの拡大に努めていく所存です。詳細は下記のとおりです。

記

1 組織について（組織図は別紙のとおり）

- （会長） 柳 弘之（ヤマハ発動機(株)会長、留任）
- （相談役） 吉林章仁（静岡県特別補佐官、新任）
- （副会長） 白井三郎（静岡市清水区、留任）、平島正道（静岡市清水区、新任）
- （監事） 朝原郁之典（静岡市葵区、留任）、大村一雄（静岡市清水区、留任）
- （理事長） 石垣 誠（静岡高校、留任）
- （書記長） 和田一人（静岡中央高校、留任）
- （理事） 海野和雄（静岡市葵区、留任）、亀山正敏（静岡市駿河区、留任）、佐藤晴彦（聖隷三方原病院、留任）、村松正幸（浜松市立葵西小学校、留任）、神谷英志（静岡県企業局、留任）、宮司真弘（浜松湖北高校、留任）、田井中亮範（ヤマハ発動機(株)、新任）、村上 勇（清水南高校中等部、新任）

2 今年度の新たな主要施策

県内の各種競技大会の主催ならびに競技力の向上に関する企画および指導等の通常業務を行うとともに、本年度は県の補助金事業等を活用し下記の施策を実施する。

(1) 協会事務局の移転及び法人化の整備

協会事務局を県スポーツ協会（静岡市駿河区国吉田）内に移転し、常勤の事務局員を配置することで、ラグビー競技、普及事業における事務の効率化を図る。また、社会的信用力向上のため、本協会的一般社団法人化のためのプロジェクトを創設する。

(2) 小中学生世代へのタグラグビー普及

昨年度までの県主体によるタグラグビー普及事業を継承し、指導者養成や環境整備等、県内の小中学生世代のタグラグビー普及向上を図る。

(3) 競技人口の拡大、チームの再編

県内ラグビー競技者人口の拡大を図るため、小中学校とラグビースクールとの交流イベントを実施する。また地域ラグビーの推進のため、世代別のチームを統合し地域一体となるラグビーチームへ再編する仕組みを構築する。

(4) 中東遠地域高校生へのラグビー普及

県内の高校ラグビー部選手の空白地域である中東遠地域にラグビースクールを開設し、当地域高校生へのラグビー普及活動を行う。

(5) 本県のラグビー選手の強化

日本代表コーチ経験者を招聘し、卓越した指導により本県ラグビー選手の競技力の向上を図り、近未来の国体の東海ブロック代表を目指す。

3 お問い合わせ先

静岡県ラグビーフットボール協会 総務担当理事 神谷英志
連絡先…携帯：090-4795-9005、Email：hideyuki.kamiya@nifty.com